



取扱説明書

型式

NS-F401MR



Fine-eye シリーズ
4CHモニター付ハイビジョンDVR

もくじ

ご使用の前に

●各部のなまえ・付属品	P4,5
●安全上のご注意	P6,7
●使用上のご注意	P9
●アナログカメラとの併用について	P10
●内蔵モニターについて	P11

はじめの手順

手順 1. 本体を設置する	P12
手順 2. モニター角度を調整する	P12
手順 3. カメラと接続する	P12
手順 4. 本体の操作について	P12
手順 5. 本体の設定を変更する	P13
手順 6. 録画した映像を再生する	P13
手順 7. 録画を停止 / 開始する	P13
手順 8. 本体の電源を切る（シャットダウン）	P13

使いかた

●録画した映像を再生する	P14,15
●USB メモリーに録画データの一部を保存する	P16
●外部のモニターに出力する	P17
●時刻を調整する	P18
●パスワードを設定する	P19
●録画の設定を変更する	P20,21
●録画の設定を変更する（基本）	P22
●録画の設定を変更する（録画計画）	P23
●録画の設定を変更する（動体検知）	P24
●録画可能な残り時間を表示する	P25

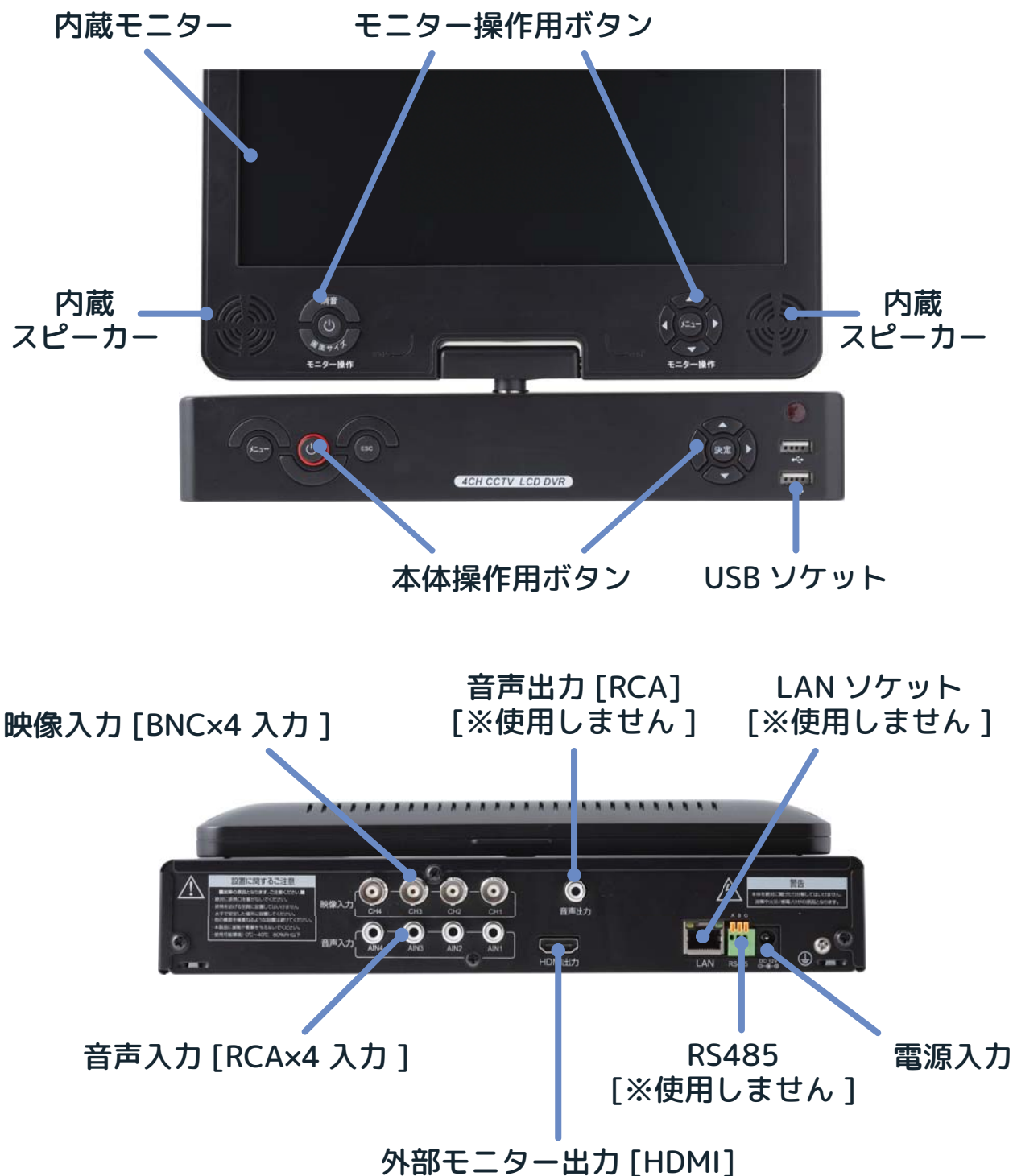
使いかた

- 記録した音声を確認する ----- P26
- 本体のシステム情報を確認する -----P27
- イベント履歴を確認する ----- P28
- 操作履歴を確認する（ログ） ----- P29
- 録画した映像をすべて消去する（ディスクフォーマット） ----- P30
- 工場出荷時の設定に戻す ----- P31
- 本体をアップデートする（F/W の更新） ----- P32

購入後のご相談

- 保証とアフターサービス ----- P33
- 仕様 ----- P34

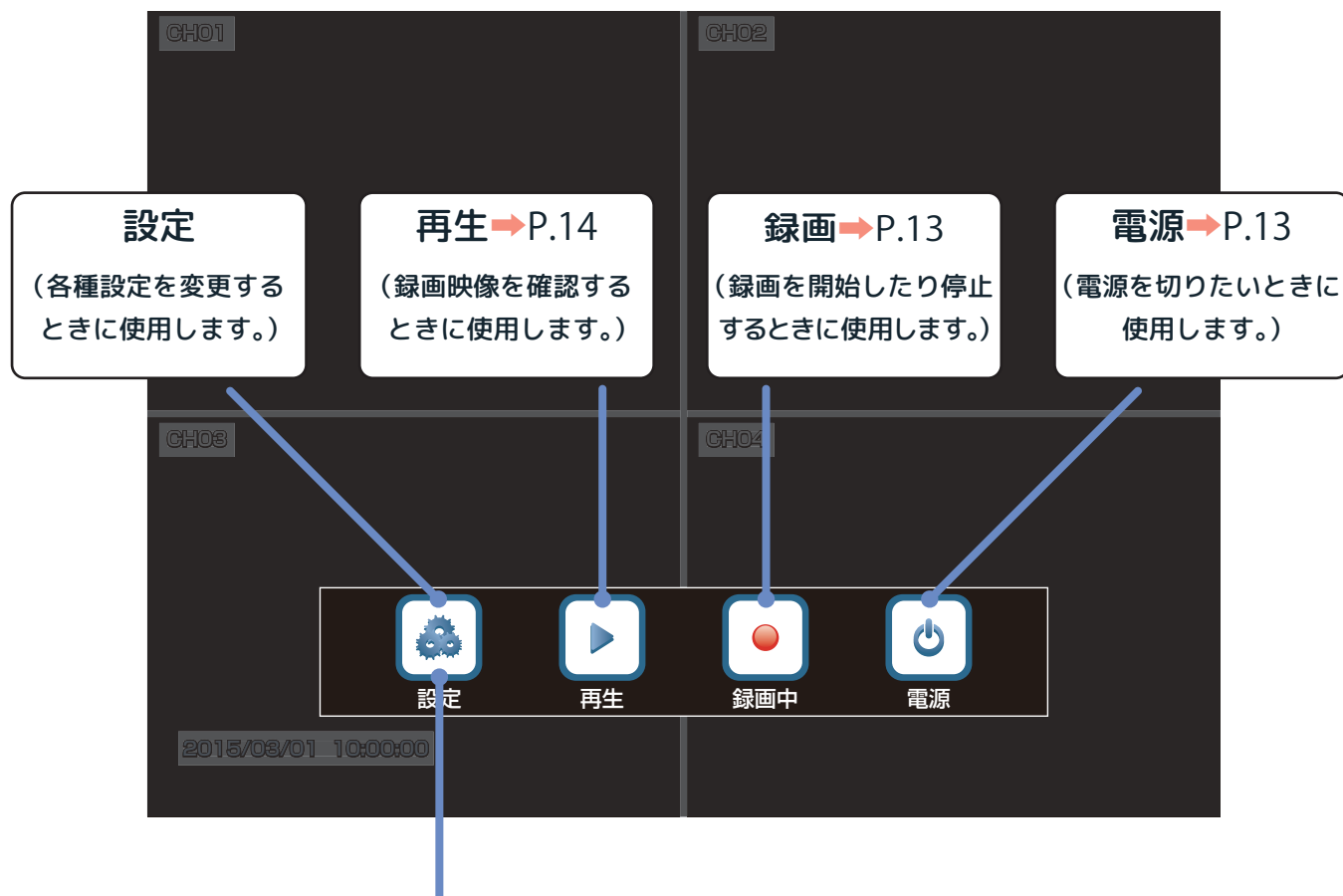
各部のなまえ・付属品



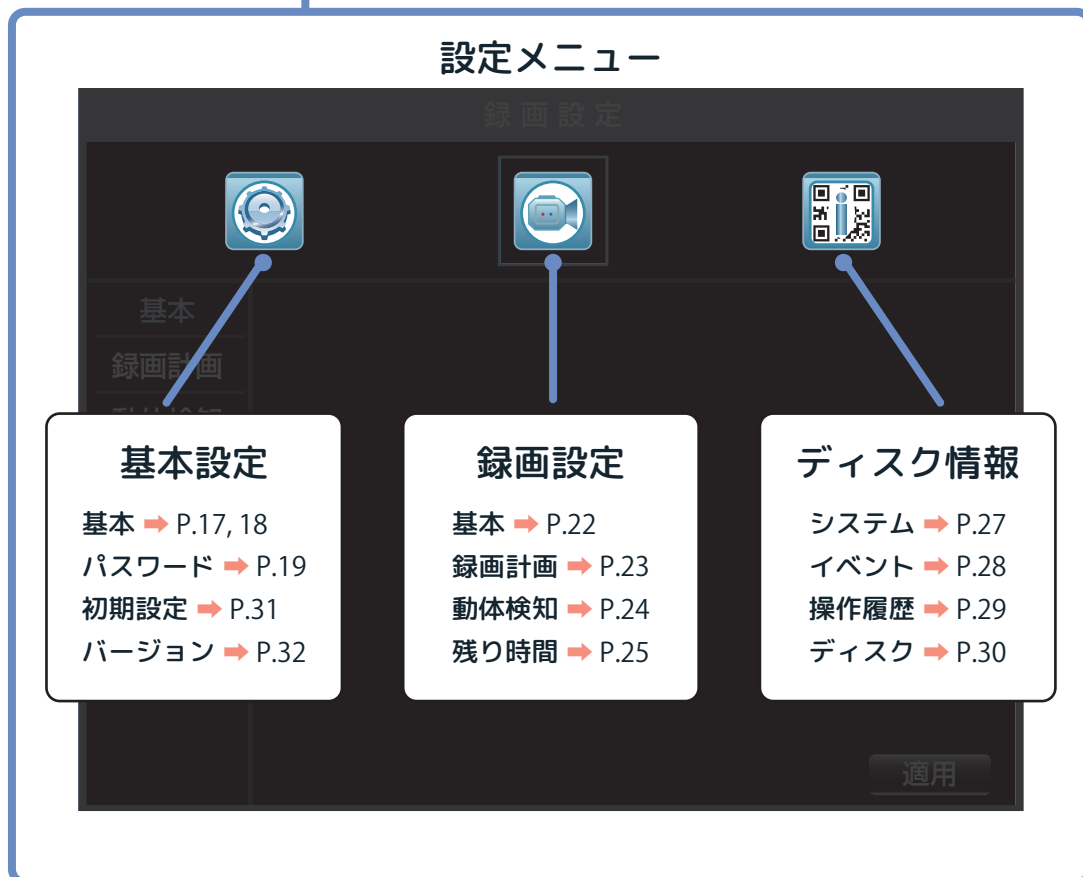
付属品

- 取扱い説明書
- BNC-RCA 変換コネクター (×4 個)
- 専用 AC アダプター
- USB マウス

メインメニュー



設定メニュー



安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■下記に示した注意事項について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。



禁止

してはいけない「禁止」内容のことです。



注意

この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。



実行

実行しなければならない「指示」内容のことです。



警告



禁止

■分解・改造・修理はしない

火災、感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

（発熱、発火、発煙、異臭、異音がする）火災、感電の原因になります。

すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

■コンセントや配線器具の定格以上の使用、また AC100V 以下で使用しない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴ったら本体や AC アダプタに触れない

感電の原因になります。

■AC アダプタ、コードなどを破損しない

（傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど）

傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。電源プラグや AC アダプタ、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。

■水をかけたり、ぬらしたりしない

火災、感電、けがの原因になります。

■AC アダプタ、コードに水をかけたりしない

感電の原因になります。ぬれた場合は、すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて販売店にご相談ください。

■医療機器の近くで使用しない

医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。

■低温・高温・高湿度の場所に設置しない

0℃以下の低温、40℃以上の高温または高湿度の場所に設置しないでください。

動作不安定や故障の原因となります。



注意



実行

- **機器の重量などを満たす強度で設置する**
落下などにより破損やけがの原因となります。
- **取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る**
感電の原因となります。



警告



実行

- **異物が入ったときは使用を中止する**
火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて販売店にご相談ください。
- **落としたり、破損したときは使用を中止する**
そのまま使用すると火災、感電の原因になります。
すぐに電源プラグや AC アダプタを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
- **電源プラグや AC アダプタは根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- **電源プラグや AC アダプタのほこりは定期的にとる**
プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。
電源プラグや AC アダプタを抜いて、乾いた布でふいてください。



注意



禁止

- **不安定な場所や振動の多い場所には設置しない**
(ぐらつき、傾きのある場所) 落下などにより破損やけがの原因になります。
- **湿気の多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない**
(風呂場、台所や水まわり) 結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。
温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。
- **高温になる場所に設置しない**
(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど) 機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。
- **ヒーターなどの熱器具の近くに設置しない**
コードが溶けて火災、感電の原因になります。
- **埃の多い場所に設置しない**
火災、感電の原因になります。
- **機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない**
落下物などにより破損やけがの原因となります。

安全上のご注意（続きです）

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■下記に示した注意事項について

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があることを示します。



禁止

してはいけない「禁止」内容のことです。



注意

この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。



実行

実行しなければならない「指示」内容のことです。



注意



禁止

■コードを引っ張らない

電源プラグや AC アダプタを抜くときはコードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

■電子レンジの近くで使用しない

無線通信への電磁妨害が発生します。

■心臓ペースメーカーの近くで使用しない

ペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

使用上のご注意

- 本製品は、特定遠隔のモニター録画システムであり、機器の故障による録画データの消失や、誤作動、あるいは、万一発生した被害及び、故障機器の取外しの際の建物の破損を含む逸失利益に関し、弊社及び販売店は一切その責任を負いかねます。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用することもできますが、法的証拠として効力を保障するものではありません。
- 本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害する事があります。映像を活用する場合は注意してください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社及び販売店は一切の責任を負いません。
- 本製品の記録媒体に使用しておりますハードディスク (HDD) は、振動、外的衝撃などの物理的耐久性、電源の入切り、停電からの復旧による突入電流などによる電氣的耐久性が低く、永久的に使用可能な媒体ではありません。作動時間が 2 万時間を超えた頃より書き込みエラーが発生しやすくなり、3 万時間を超えると寿命に至ります。大切な録画データを破損、損失させないためにも機器周辺温度を 20℃以下に保ち、18,000 時間を目安に HDD を交換することをお勧めいたします。
- HDD の交換依頼は、ご購入頂いた販売店にご相談下さい。(有償となります) なお、HDD の交換や、機器修理の際、録画済みの HDD のデータは消去させていただきますのであらかじめご了承ください。
- 弊社では、機器の故障、トラブルに対する出張修理は行っておりません。修理については、販売店を経由したセンドバック方式にて対応させていただきます。

アナログカメラとの併用について

一般向けに弊社が販売している防犯カメラには、以下の2種類の規格があります。

- DIY-eye シリーズ（アナログカメラ / 52 万画素以下のイメージセンサーを搭載）
- Fine-eye シリーズ（デジタルカメラ / 130 万画素のイメージセンサーを搭載）



DIY-eye シリーズ アナログカメラ規格

NS-200SC/BS/CS：2000 年 12 月販売開始
ECO-66CS：2003 年 10 月販売開始
NS-55CS：2000 年 10 月販売開始
NS-H635CS：2012 年 10 月販売開始
NS-10IRC/IRB：2000 年 10 月販売開始
NS-90CS：2010 年 12 月販売開始
NS-80CS：2008 年 10 月販売開始
NS-C019S：2008 年 10 月販売開始
NS-33CS：2011 年 10 月販売開始
NS-53CS：2000 年 10 月販売開始
NS-C13S/15S：2000 年 10 月販売開始



Fine-eye シリーズ デジタルカメラ規格

NS-F201C：2015 年 04 月販売開始
NS-F202C：2015 年 05 月販売開始

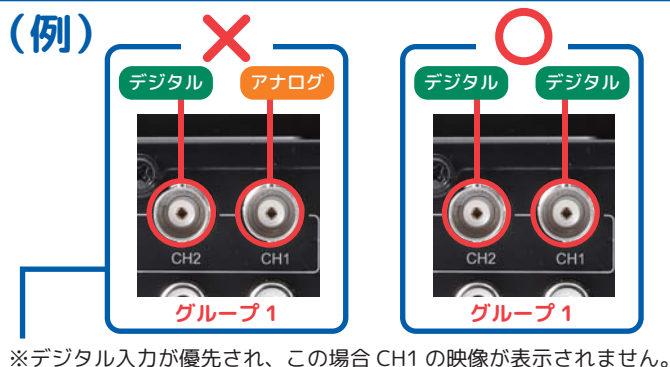
■ 接続ルールにご注意下さい！！

- 1 カメラの入力は2つのグループで構成されます。

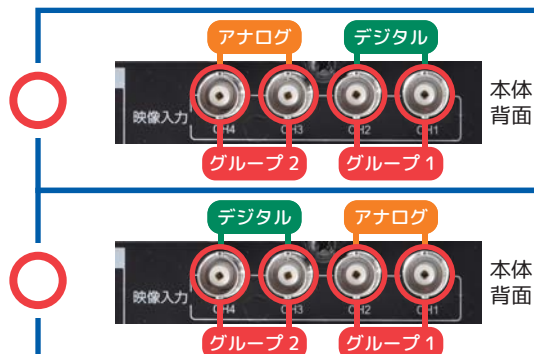


- 上図のように、「グループ1」と「グループ2」に分かれます。

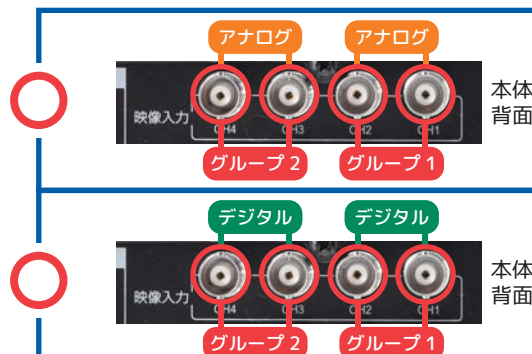
- 2 同じグループには同じ規格のカメラを接続しなければいけません。



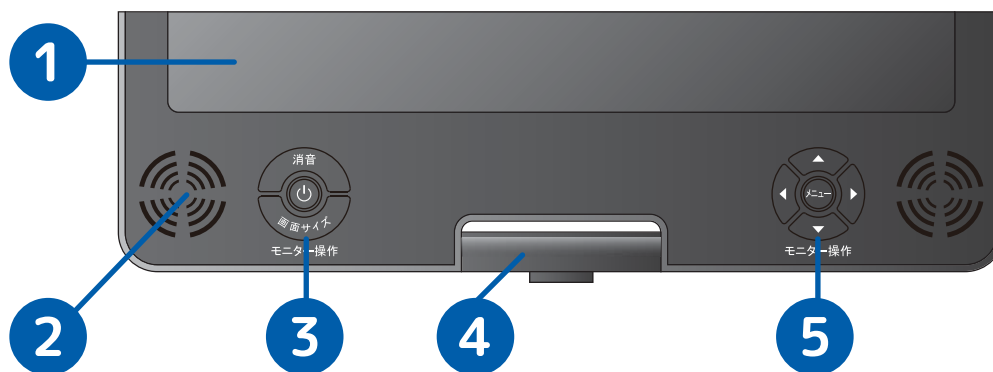
- 3 2種類のカメラの規格を併用する方法は以下の2通りです。



- 4 全てのチャンネルに同じ規格のカメラを接続しても問題ありません。



内蔵モニターについて



① 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。

交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

② 内蔵スピーカーに関するご注意

通常は消音状態にして下さい。音声機能を使用する時のみ、スピーカーをご使用ください。スピーカーから小さなノイズが発生しますが、これは異常ではございません。

③ モニター操作（メニューボタン左側）について

- 消音・・・内蔵スピーカーの ON / OFF 切替に使用します。
- モニター電源 ・・・液晶ディスプレイの ON / OFF 切替に使用します。
- 画面サイズ・・・画面表示サイズの切替に使用します。(4 : 3[スクエア] / 16 : 9[ワイド])



内蔵スピーカー
消音状態

④ 内蔵モニターの収納について

モニターを使用しない時は、長年ご愛用頂くためにモニター電源を OFF にして、折りたたんで収納しましょう。これは、液晶ディスプレイの画面焼け防止や保護に役立ちます。

⑤ モニター操作（メニューボタン右側）について

この設定については、基本的に変更する必要はございません。
設定内容は以下の通りです。



メニューボタンを
押すと次のメニュー
へ移動します。



上下左右カーソル
ボタンを使って、
各設定値の変更を
行います。

■PICTURE（画面設定）

BRIGHTNESS（明るさ）
[0--50--100]
(標準)

CONTRAST（コントラスト）
[0--50--100]
(標準)

■AUDIO（音声設定）

VOLUME（音量）
[0---80-100]
(標準)

■FUNCTION（表示設定）

ZOOM（ズーム）
[16:9] [4:3]
(標準)
HPOSITION（水平位置）
[0--50--100]
(標準)
VPOSITION（垂直位置）
[0--50--100]
(標準)

■SYSTEM（システム）

NTSC
SECAM
AUTO（標準）
PAL

手順 1 ～ 4（はじめの手順）

手順①. 本体を設置する

1. 本体を水平で安定した場所へ設置します。
設置場所の温度や湿度にも気を付けましょう。
2. 付属の AC アダプターを接続します。
3. 本体電源ボタンを押して電源を入れます。
4. 内蔵モニターにスタート画面が表示されます。

→ P6,7 参照

十分に換気
できる環境に
設置しましょう



手順②. モニター角度を調整する

1. モニターを見やすい角度に調整します。
力を入れ過ぎないように慎重に行なってください。

- 正面から右回り 180°回転できます。
- 正面から左回り 90°回転できます。

→ P11 参照



手順③. カメラと接続する

1. お手持ちのカメラの映像線を本製品の背面にある映像入力に接続します。
2. カメラの映像が正常に表示されているかどうか、内蔵モニターから確認します。

本体背面
(実際は黒色です)



カメラも電源が必要です、
忘れないでください。

カメラの映像線を配線する

手順④. 本体の操作について

付属マウスを使用して操作します

● 左クリックの機能
操作の決定

● ホイールの機能
設定値の変更

● 右クリックの機能
メインメニューの呼出し
操作の取消し
前の操作に戻る

付属マウス

本体 USB ソケットへ

使用しません

本体電源の入切

操作の取消し

カーソルの移動 [↑↓←→]

メニューの呼出し

消音設定の切替え



操作の決定

手順 5 ～ 8 (はじめの手順)

手順⑤. 本体の設定を変更する

1. 本製品の各種設定値の変更を行うには、メインメニューを呼出し、設定アイコンを選択します。

→ P17 ~



基本設定



録画設定



ディスク情報

手順⑥. 録画した映像を再生する

1. 録画映像を再生するには、メインメニューを呼出し再生アイコンを選択します。 → P14,15 参照

- 時間検索 --- 再生開始時間を指定して録画映像を確認します。
- 動体検知 --- 動体検知のあった時間帯を検索して録画映像を確認します。



メインメニューを呼び出すには、
・ マウスを右クリック
・ 本体前面ボタンのメニューを押す
のいずれかを実行して下さい。

手順⑦. 録画を停止 / 開始する

1. 録画を停止したり開始するには、メインメニューを呼出し、録画アイコンを選択します。
2. 録画状態は、各チャンネルの左上にあるアイコンによって確認することができます。



通常録画



動体検知録画

3. また、録画アイコンを選択する度に録画状態が切替わります。



停止中



録画中

手順⑧. 本体の電源を切る (シャットダウン)

1. 本製品の電源を切るには、メインメニューを呼出し電源アイコンを選択します。
2. “システムをシャットダウンしますか?”の警告表示のあと、“決定”を選択します。
3. “しばらくお待ちください”の表示のあと、“安全に電源を切ることができます”の表示に切替わります。
4. 本体電源ボタンを押して電源を切ります。

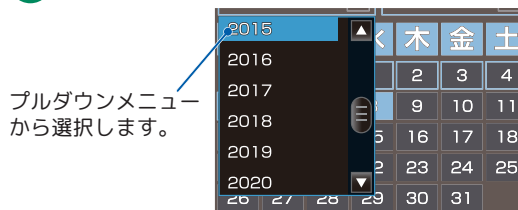
録画した映像を再生する

開始時間を入力して再生する

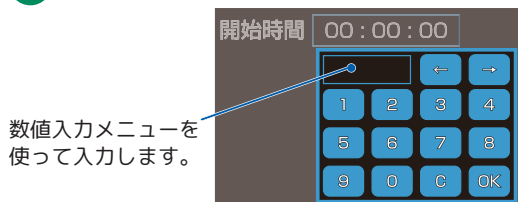
① メインメニューから再生アイコンを選択します。 → P13 手順⑥ 参照

② “時間検索” を選択します。

③ 年、月、日を選択します。

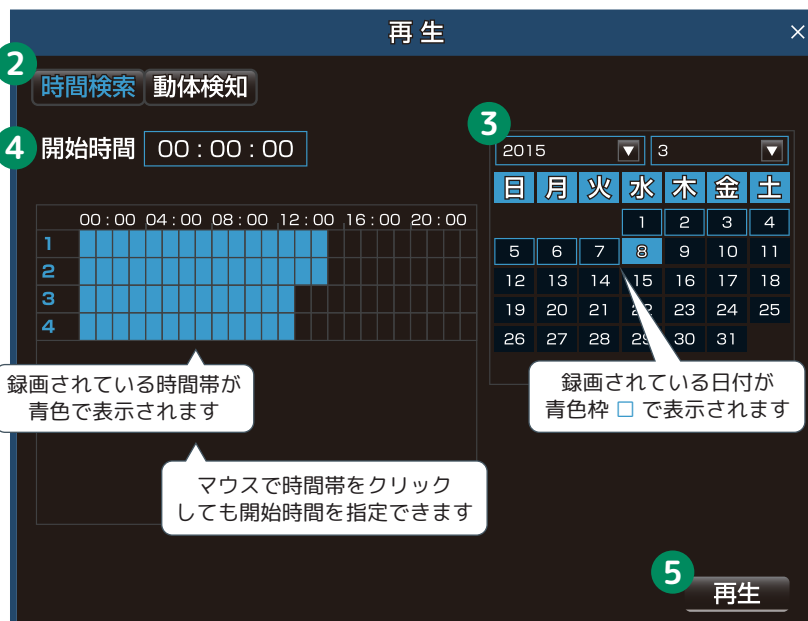


④ “開始時間” を入力します。



⑤ “再生” ボタンを選択します。

再生メニュー



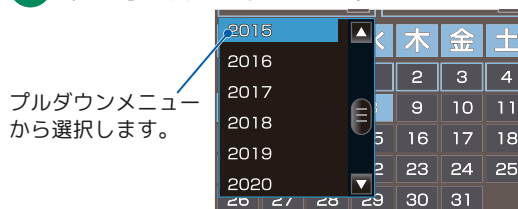
動体検知時間を検索して再生する

① メインメニューから再生アイコンを選択します。 → P13 手順⑥ 参照

② “動体検知” を選択します。
(動体検知を使用するには、録画設定を変更する必要があります。)

→ P20 ~ 24 参照

③ 年、月、日を選択します。



④ 開始時間を選択します。



⑤ “再生” ボタンを選択します。

再生メニュー



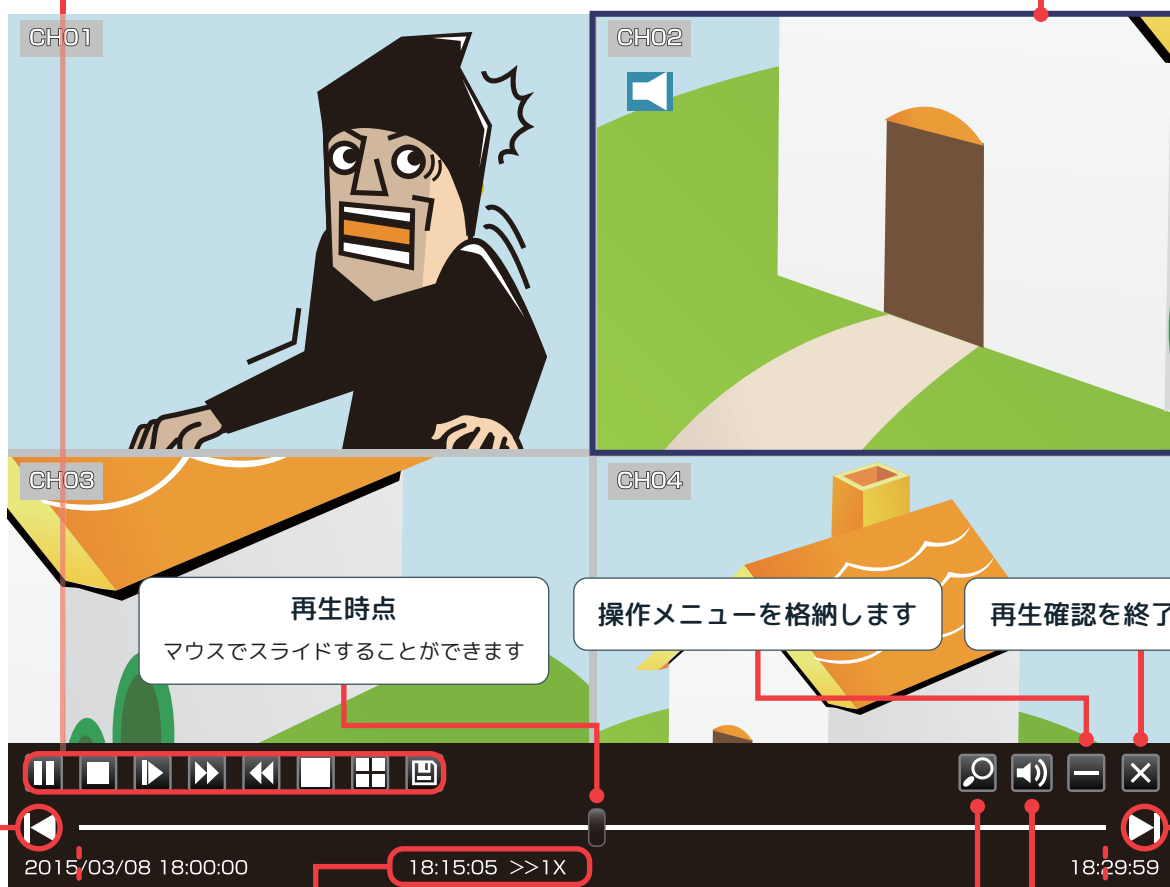
再生 / 一時停止	停止
1コマ送り	早送り 2倍 4倍 8倍 16倍 1/4倍 1/2倍
巻き戻し 8倍 16倍 32倍	単画面表示 続けて選択すると次のCHへ
4分割表示	USB メモリー保存 → P16 参照

選択チャンネル

音声を確認したいCHを選択することができます



再生中画面



再生時点

マウスでスライドすることができます

操作メニューを格納します

再生確認を終了します

時間軸は 30 分刻みで表示されます

「再生中の時刻」と「再生速度」を表示します

前の時間軸へ

この場合
17:30:00
～ 17:59:59

デジタルズーム



8段階の調整ができます 画面を移動します

次の時間軸へ

この場合
18:30:00
～ 18:59:59

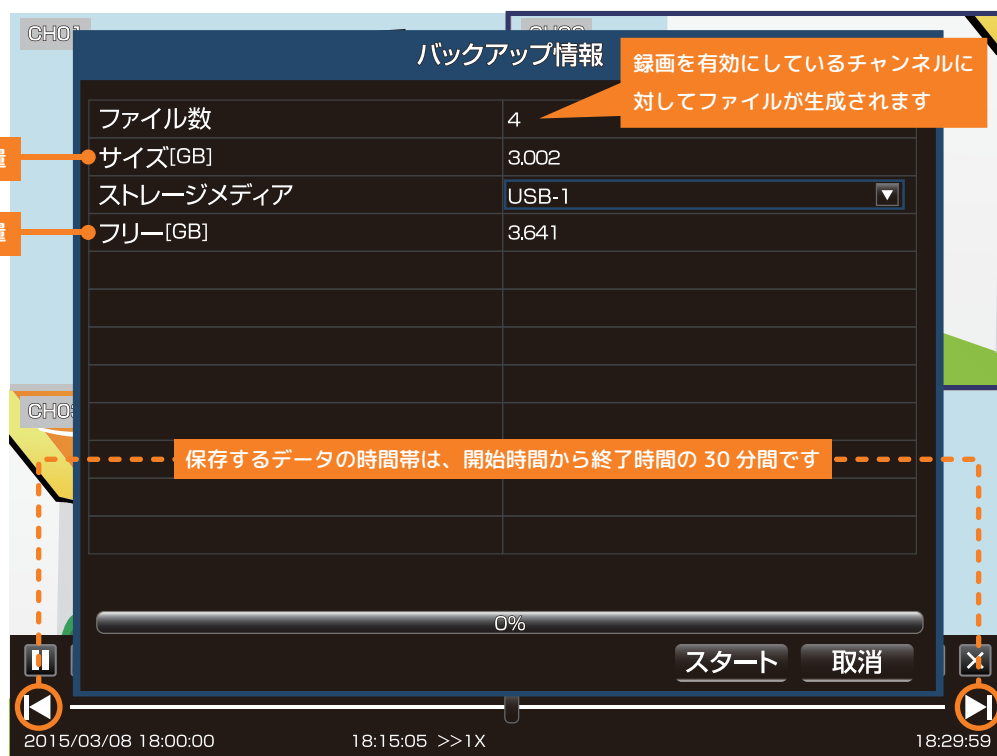
音声切替



消音

USB メモリーに録画データの一部を保存する

使
い
か
た



- 1 本体前面にある USB ソケットにお手持ちの USB メモリーを挿入します。

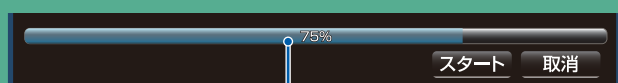


- 2 録画映像の再生手順に従って、保存したい時間の映像を再生確認します。 → P14,15 再生手順 参照

- 3 再生操作メニューにある“USB メモリー保存”を選択します。



- 4 読み込み完了後に“バックアップ情報”画面が表示されるので、そこで“スタート”を選択します。

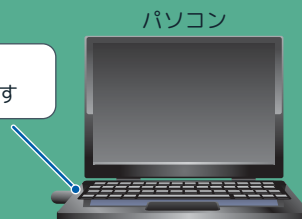


進捗状況が 100% になるまでお待ちください

100%に達すると、“バックアップ完了”が表示されるので、“決定”を選択して終了します。

- 5 保存した USB メモリーをお手持ちの Windows PC に接続します。

USB メモリーを接続して
保存したデータを確認します



- 6 保存したデータの内容は以下の通りです。

動画形式：AVI
生成データ容量：2～3GB 程度 / カメラ 4 台
[解像度 “高” / フレームレート “高” の設定時]
生成フォルダ名：生成日時
生成ファイル名：カメラ CH- 開始時間 - 終了時間

例えば、「2015 年 3 月 8 日 18 時 00 分から 18 時 30 分」のデータを保存するために、「2015 年 3 月 8 日 20 時 00 分 0 0 秒」に USB メモリーへの保存を行った場合。

フォルダ名：20150308200000

ファイル名：CH01-2015-03-08-17-59-59-
2015-03-08-18-29-59

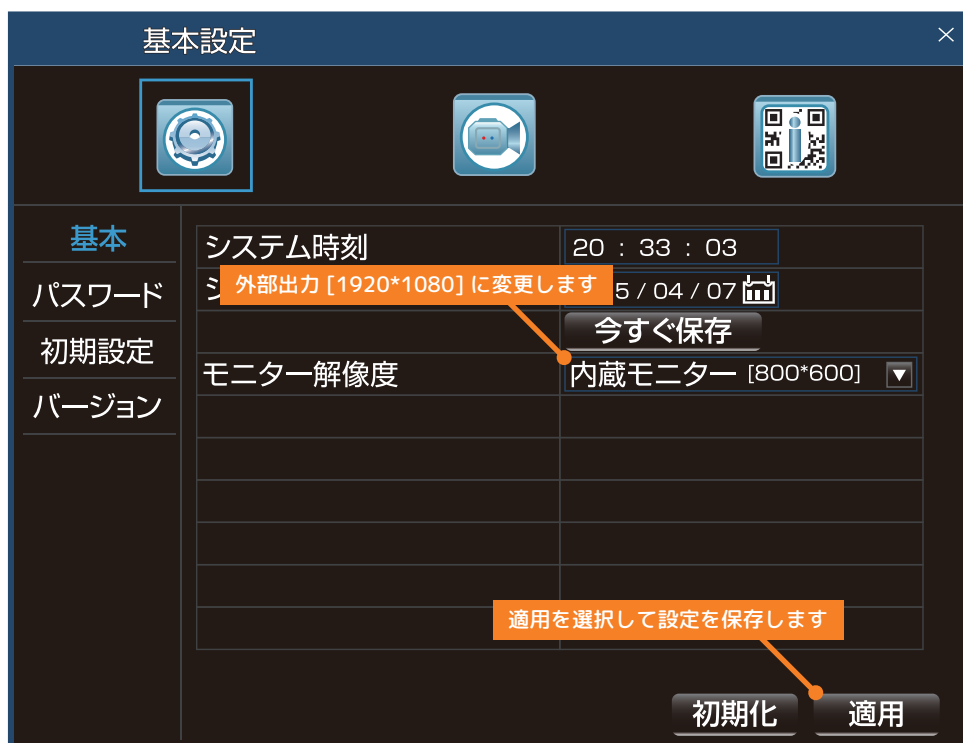
↑チャンネル 1 のデータ名

- 7 生成された動画ファイルは、Windows Media Player で再生することができます。

汎用性の高い AVI 形式の動画データなので、
様々な再生ソフトを利用することができます



外部のモニターに出力する



- 1 本製品と外部モニターを HDMI ケーブルで接続します。

(注意)
本製品の HDMI 出力は映像のみ出力します。
本体内蔵スピーカーを利用して音声確認を行って下さい。

入力 CH を接続した HDMI
に切り換えて下さい

本体背面



HDMI ケーブル

モニター



- 2 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- 3 “モニター解像度”を“外部出力 [1920*1080]”に変更します。

内蔵モニターの表示が見にくく
なりますが、異常ではありません

基本設定

→ 基本

→ モニター解像度

→ 外部出力 [1920*1080] に変更します。

適用を選択して、設定を保存します。

- 4 内蔵モニターは使用しないので、電源を切って格納しましょう。

→ P11 参照

→ P12 手順② 参照

右回りに回転させることで、モニターを
閉じて格納することができます



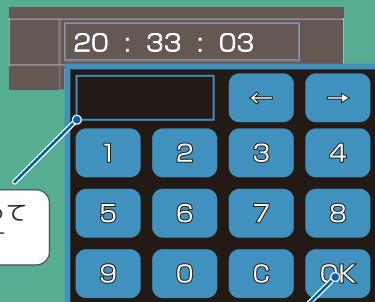
時刻を調整する

使
い
か
た



- ① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- ② 基本設定 → 基本 → システム時刻を調整します。



- ③ 時刻の入力が完了したら、“今すぐ保存”を選択します。

今すぐ保存

保存するまでの間、時間の経過が止まりますが、実際には正しく進んでいます

(注意)
時間を変更すると、保存されている録画データの一部分が削除されることがあります。ご了承下さい。

- ④ 日付の変更が必要な場合、システム日付の調整も行います。

カレンダーメニューを使って
年を調整します

月を調整します



日付を調整します

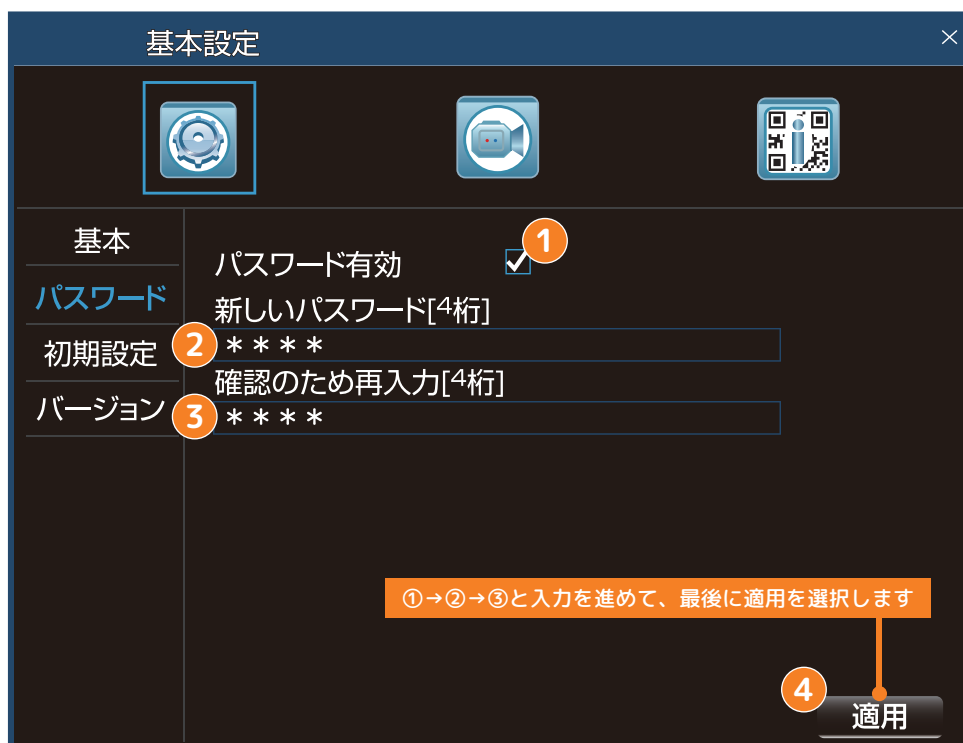
- ⑤ 日付の変更が完了したら、“今すぐ保存”を選択します。

今すぐ保存

保存するまでの間、時間の経過が止まりますが、実際には正しく進んでいます

(注意)
時間を変更すると、保存されている録画データの一部分が削除されることがあります。ご了承下さい。

パスワードを設定する



- ① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- ② 基本設定 → パスワード → パスワード有効に ☒ を入れます。

- ③ “新しいパスワード” と “確認のため再入力” の入力欄に数字 4 ケタを入力して下さい。

(注意)

ご自身で決めた数字 4 ケタのパスワードは絶対に忘れないでください。パスワードを正しく入力できない場合、全ての操作を行うことができなくなります。

最初に数字 4 ケタのパスワードを決めて下さい

新しいパスワード[4桁]

* * * *

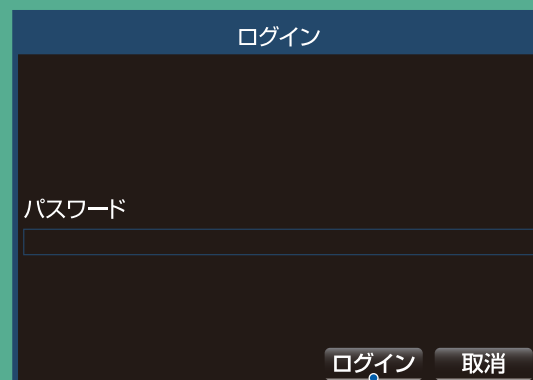
続いて、入力に誤りがないことを確認するため、もう一度同じパスワードを入力します

確認のため再入力[4桁]

* * * *

- ④ 最後に“適用”を選択して、内容を保存します。

パスワードを有効にすると、次回から操作を行う際、ログインのためにパスワードを入力する必要があります。



登録したパスワードを入力してログインします

(注意)

ログアウト時間は 5 分です。ログインした後、5 分以上何も操作しない状態が続くと自動的にログアウトします。その場合、操作を行う際には再度パスワードを入力する必要があります。

録画の設定を変更する

接続するカメラの種類別 録画条件

ハイビジョンカメラ					アナログカメラ				
解像度		フレームレート		ビットレート	解像度		フレームレート		ビットレート
低	360×240	低	10fps	768kbps	低	360×240	低	10fps	768kbps
低	360×240	普通	20fps	768kbps	低	360×240	普通	20fps	768kbps
低	360×240	高	30fps	768kbps	低	360×240	高	30fps	768kbps
普通	720×480	低	10fps	1536kbps	普通	720×480	低	10fps	1536kbps
普通	720×480	普通	20fps	1536kbps	普通	720×480	普通	20fps	1536kbps
普通	720×480	高	30fps	1536kbps	普通	720×480	高	30fps	1536kbps
高	1280×720	低	6fps	2048kbps	高	960×480	低	6fps	2048kbps
高	1280×720	普通	8fps	2048kbps	高	960×480	普通	8fps	2048kbps
高	1280×720	高	12fps	2048kbps	高	960×480	高	12fps	2048kbps

目的に合った録画コースを
選んで下さい

常に録画する
通常録画

スケジュールを決めて連続録画する
スケジュール連続録画

映像に変化があった時だけ録画する
動体検知録画

スケジュールを決めて動体検知録画する
スケジュール動体検知録画

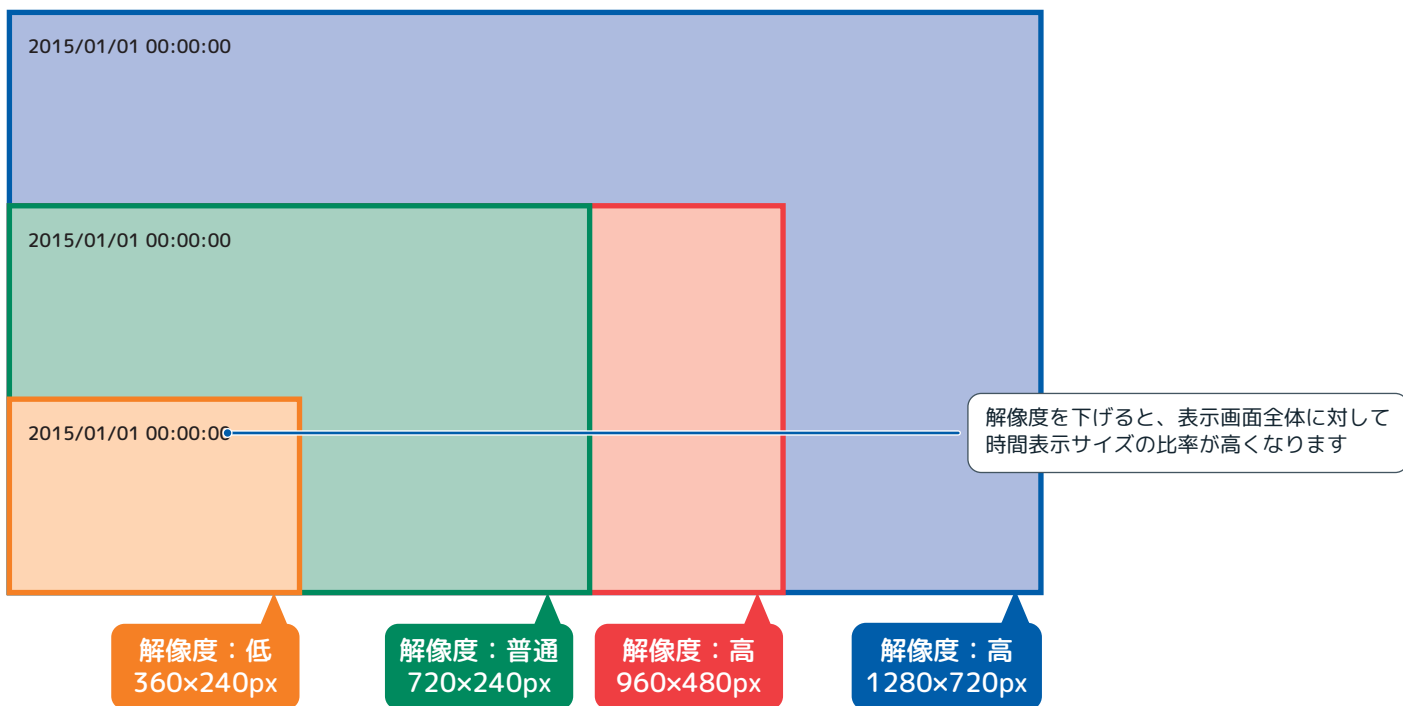
通常録画と動体検知録画を併用する
通常 / 動体検知併用録画

基本
→ P22

- カメラ台数
- 音声記録
- 録画品質
- 上書き録画

目的に合わせて
調整します

録画解像度別 表示サイズの違い



録画計画 → P23

動体検知 → P24

通常録画の
スケジュールを
調整します

通常録画の
スケジュールを
全て削除します

通常録画の
スケジュールを
全て削除します

通常録画の
スケジュールを
調整します

動体検知の
スケジュールを
調整します

動体検知の
スケジュールを
調整します

■有効
■感度
■範囲

目的に合わせて
調整します

録画の設定を変更する（基本）

使
い
か
た



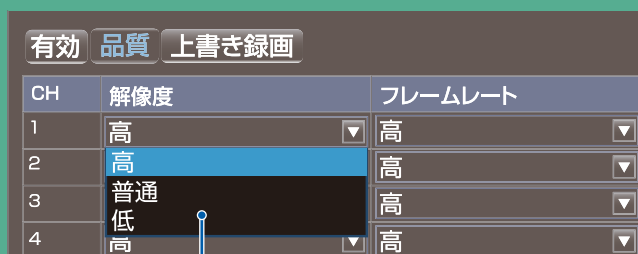
① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

② 録画設定 → 基本 → 有効を確認します。

- 録画したいチャンネルに ☒ を入れます。
- 音声を記録したいチャンネルに ☒ を入れます。

設定内容を保存するには、“適用”を選択します。

③ 録画設定 → 基本 → 品質を確認します。



→ 各設定値の詳細について P20 参照

チャンネルごとに“低”、“普通”、“高”のいずれかを選択してください。

設定内容を保存するには、“適用”を選択します。

④ 録画設定 → 基本 → 上書き録画を確認します。



上書き録画を行う場合は、☒を入れます。

設定内容を保存するには、“適用”を選択します。

(注意)
上書き録画を有効にしている場合、内蔵ハードディスクの容量が 100% に達した時点より、最も古い録画データから上書き録画されていきます。

上書き録画を無効にすると、容量が 100% に達した時点で録画が停止されます。

録画の設定を変更する（録画計画）

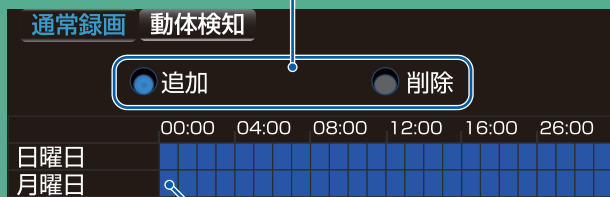
使
い
か
た



① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。→ P13 手順⑤ 参照

② 録画設定 → 録画計画 → 通常録画 を確認します。

録画したい→“追加”
録画したくない→“削除”
どちらかを選択します



反映させたい範囲を塗りつぶします

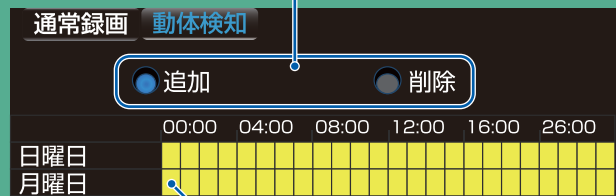
設定内容を保存するには、“適用”を選択します。

③ 続いて、動体検知録画のスケジュール調整を行います。

動体検知を選択します



録画したい→“追加”
録画したくない→“削除”
どちらかを選択します



反映させたい範囲を塗りつぶします

設定内容を保存するには、“適用”を選択します。

録画の設定を変更する（動体検知）

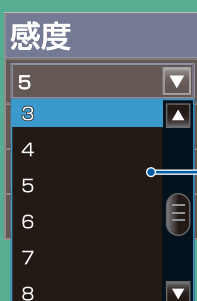
使
い
か
た



- 1 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- 2 録画設定 → 動体検知 → 有効 を確認します。
動体検知を使用するチャンネルに ☒ を入れます。
設定内容を保存するには、“適用” を選択します。

- 3 続いて“感度”の調整を行います。

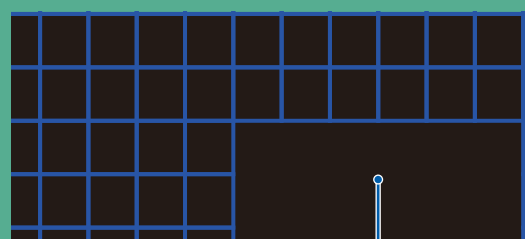
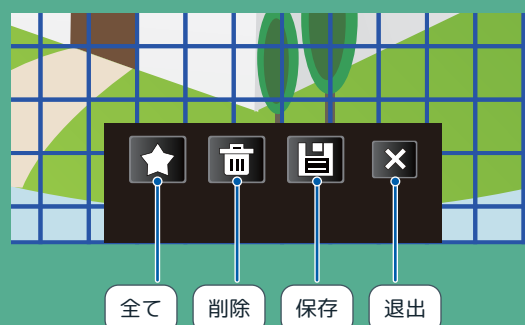


設定内容を保存するには、“適用” を選択します。

（アドバイス）

動体検知は、映像の明るさの変化を捉えて検知する仕組みです。感度の調整は、ご自身の設置環境に合わせて昼間と夜間の動体検知の頻度を確認しながら何度か調整することをおすすめします。

- 4 続いて“範囲”を選択します。



枠を削除すると非検知範囲になります

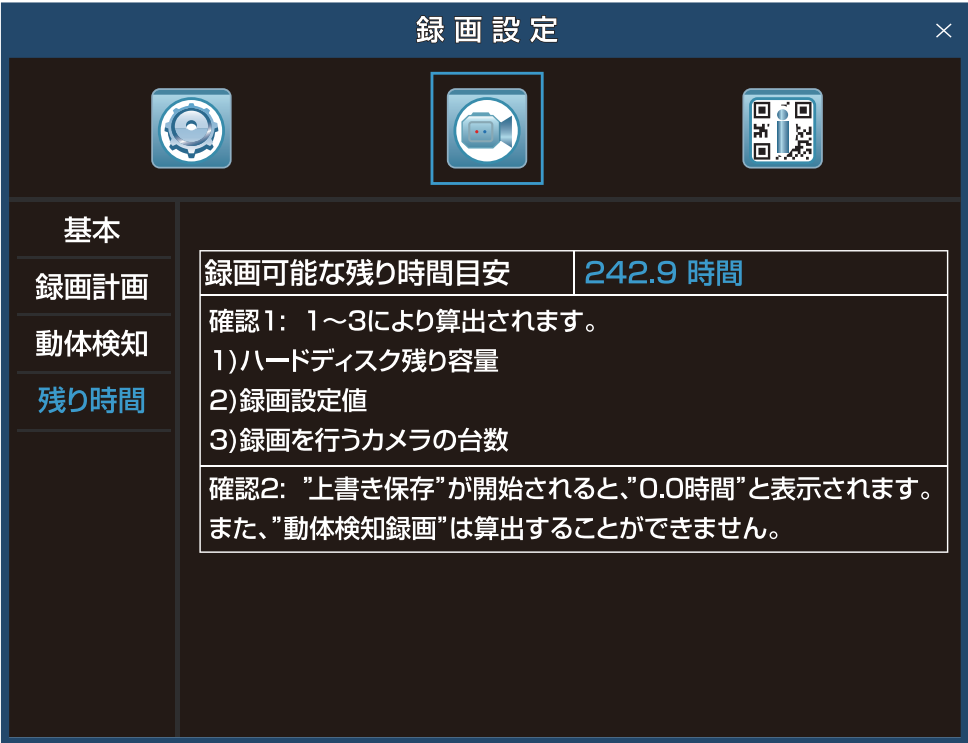
範囲の調整が完了したら“退出”して“適用”を選択します。

（アドバイス）

検知範囲の設定は、ご自身の設置環境に合わせて昼間と夜間の動体検知の頻度を確認しながら何度か調整することをおすすめします。

録画可能な残り時間を表示する

使
い
か
た



1 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。
→ P13 手順⑤ 参照

2 録画設定 → 残り時間 を確認します。

録画可能な残り時間目安 242.9 時間

録画可能な残り時間の目安は、以下 3 つの要素で算出されます。

1. ハードディスクの残り容量
(ディスク情報 → ディスク から確認できます)

種類	サイズ[GB]	フリー[GB]	ステータス
SATA	931.51	917.88	通常

2. 各カメラの録画設定値
(録画設定 → 基本 → 品質 から確認できます)

有効 品質 上書き録画			
CH	解像度	フレームレート	
1	高	高	高
2	高	高	高
3	高	高	高
4	高	高	高

3. 録画するカメラの台数
(録画設定 → 基本 → 有効 から確認できます)

CH	録画
1	✓
2	✓
3	✓
4	✓

(注意)
「録画可能な残り時間目安」はあくまで目安です。
撮影環境によって大幅に変動する可能性がありますので
ご了承ください。

(注意)
動体検知機能を使用している場合、録画可能な残り時間の
目安を算出することができません。ご了承ください。

記録した音声を確認する

使
い
か
た



- 1 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- 2 録画設定 → 基本 → 有効を確認します。
音声を記録したいチャンネルに ☒ を入れます。

音声



設定内容を保存するには、“適用”を選択します。

- 3 録画している過去の映像を再生確認します。

→ P14,15 参照

- 4 本体前面ボタン“本体消音”を押して、消音設定を切替えます。

本体前面ボタン



本体消音ボタンを押します



音声アイコンが表示されていることを確認します

- 4 続いて本体内蔵スピーカーの消音設定を切替えます。



内蔵スピーカー
消音状態

(注意)

内蔵スピーカーを ON にすると、スピーカーからノイズが発生しますが、これは異常ではございません。音声を出力しない時は、スピーカーを消音状態にしましょう。

本体のシステム情報を確認する



使
い
か
た

① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 ➡ P13 手順⑤ 参照

② ディスク情報 ➡ システム を確認します。

イベント履歴を確認する

使
い
か
た



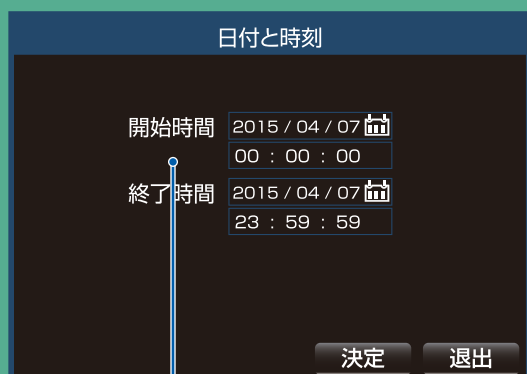
① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

② ディスク情報 → イベントを確認します。

③ 確認したいイベントの種類に ☒ を入れます。

☐ 動体検知 ☒ ビデオロス

④ 続いて“検出”を選択して、開始時間と終了時間を入力します。



調べたい時間帯を入力します

決定を選択して、検出を開始します。

④ 指定時間帯にイベントがあった場合、このように検出結果が表示されます。

CH	種類	開始時間	終了時間
4	ビデオロス	2015/04/07 17:04:40	2015/04/07 17:0511
4	ビデオロス	2015/04/07 16:58:00	2015/04/07 17:03:27

検出結果の一例

操作履歴を確認する

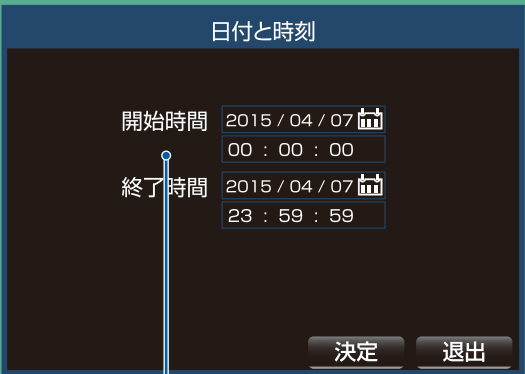
使
い
か
た



- ① メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 ➡ P13 手順⑤ 参照

- ② ディスク情報 ➡ 操作履歴 を確認します。

- ③ 続いて“検出”を選択して、開始時間と終了時間を入力します。決定を選択して、検出を開始します。



調べたい時間帯を入力します

- ④ 指定時間帯にイベントがあった場合、このように検出結果が表示されます。

種類	時間
イベントをチェック	2015/0407 20:37:17
イベントをチェック	2015/0407 20:37:07

検出結果の一例

- ④ 検出結果をさらに選択すると、このように種類の全文を確認することができます。

種類 : ミュートを有効にする
時間 : 2015/04/01 17:24:58

操作履歴の種類一覧

システム起動	モーション検知エリアを調整します
システムシャットダウン	モーション検知処理設定を変更します
システム再起動	モーション検知スケジュールを調整します
ディスクフォーマット成功	ビデオロス処理設定を変更します
ディスクフォーマット失敗！	警報出力スイッチを調整します
システムアップグレード成功！	アラーム出力スケジュールを調整します
システムアップグレード失敗！	アラームブザーを有効にする
アラームクリア	アラームブザーを無効にする
アラームを有効にする	アラームブザースケジュールを調整します
手動録画を有効にする	パスワードを変更
手動録画を無効にする	初期設定を復元
音声 CH を変更	インポート構成
音量を調整する	エクスポート構成
ミュートを有効にする	再生
ミュートを無効にする	一時停止
ログオン	再開
ログオフ	早送
システム時刻を変更する	巻戻
画面解像度を変更する	停止中
カメラの名前を変更	バックアップ開始
カラー設定を調整します	バックアップ完了
メインモニター設定を調整します	バックアップをキャンセル
スポット設定を調整します	バックアップ失敗
オーバーレイ設定を調整します	ファイルを削除する
録画ビットレートを調整します	システム情報の表示
録画 ON/OFF 設定を変更します	イベントをチェック
音声 ON/OFF 設定を変更します	ログをチェック
自動録画スケジュールを調整します	ログをエクスポート
モーション録画スケジュールを調整します	イベントをエクスポート
センサー録画スケジュールを調整します	ディスク書き込みエラー
モーション検知 ON/OFF 設定を変更します	予期せぬ電源 OFF
数値を上げると検知しやすくなります	

録画したデータを全て消去する

使
い
か
た



- 1 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- 2 ディスク情報 → ディスクを確認します。

- 3 認識しているハードディスクに ☒ を入れます。

ID	種類
01 ☒	SATA

- 4 “初期化”を選択して、データを消去します。



進捗状況が 100% になるまでお待ちください

進捗状況が 100% に達すると“ 初期化完了” が表示されます。

(注意)

本製品を長くご愛用頂くため、内蔵されているハードディスクの取り扱いに関しまして、安全上のご注意 / 使用上のご注意 (P6 ~ 9) に記載されている内容を改めてご確認ください。

工場出荷時の設定に戻す

使
い
か
た



- 1 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 ➡ P13 手順⑤ 参照

- 2 基本設定 ➡ 初期設定 を確認します。

- 3 “初期値に戻す” を選択します。

初期値に戻す

実行すると、本体が再起動されて工場出荷時の設定値に戻ります。

初期設定値一覧

モニター解像度		800×600
パスワード		無効 (0000)
ログアウト時間		5 分
録画		全てのチャンネルが有効
音声記録		全てのチャンネルが無効
上書き録画		有効
録画品質	解像度	全てのチャンネルが高
	フレームレート	全てのチャンネルが高
録画計画	通常録画	全ての時間帯が有効
	動体検知	全ての時間帯が有効
動体検知	有効	全てのチャンネルが無効
	感度	全てのチャンネルが「5」
	範囲	全ての範囲
	検知前録画	30 秒
	検知後録画	30 秒
	持続時間	10 秒

本体をアップデートする（F/W の更新）

使
い
か
た



- 1 メインメニューを呼出して、設定アイコンを選択します。 → P13 手順⑤ 参照

- 2 基本設定 → バージョン を確認します。

- 3 USB メモリーを準備します。
アップデートに必要なファイルをお手持ちの USB メモリーに入れます。

- 4 本体前面にある USB ソケットに準備した USB メモリーを挿入します。



- 5 “USB を読み込” を選択すると、USB メモリー内のデータ一覧が表示されます。

USBを読み込

- 6 該当するデータを選択して “実行” します。
本体のアップデートが開始されます。

（注意）

製品品質向上のために、本体のファームウェアをアップデートする必要がある場合がございます。最新のアップデート情報に関するご案内については、弊社ホームページをご確認ください。

保証とアフターサービス

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。

高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。

その場合、その結果に対するの損害賠償責任について弊社は負担いたしません。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。

(修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります)

- 1.本保証書がない場合
- 2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、または購入先や購入日が改ざんされている場合
- 注：太字及び※印の項目は必ず記入願います。
- 3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合
- 4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷
- 5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、外部に原因がある故障および損傷である場合
- 6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

- 初期不良交換、修理の手続き
- 保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
 - お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
(送料については弊社負担とさせていただきます)
 - ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。
 - また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。
 - 弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。
 - 弊社ではセンドバック（先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する）方式でのみ、対応を行っております。
 - 修理費用については販売代理店や購入店を通じた対応となります。

- 注意■
- 電源は家庭用AC100V（50Hz/60Hz）のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。
 - 必ず付属のACアダプターを使用してください。
 - ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の原因となります。
 - ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
 - 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。
 - 動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。
 - 本機を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。
 - 長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。
 - 落雷の恐れがある場合は、すみやかに本機を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。（停電時のブレーカーの入切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。）
 - 本機を次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 特に高温低温になる場所
 - 温度変化の激しい場所
 - 振動の多い場所
 - 油煙、湯気、湿気があたる場所
 - 静電気が多く発生する場所
 - 強い磁気や電磁波が発生する装置（発電機やアンプ）が近くにある場所
 - 機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所
 - 本機を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。
 - 金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

- 録画機に関する注意■
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 本機の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。
 - 3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。
 - 主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません（消耗品扱いとなります）。次の留意点踏まえたうえでご使用ください。
 - 衝撃、振動をあてないでください。
 - 電源の入切りを頻繁に行わないでください。
 - 推奨環境：周辺温度25℃以下
 - 稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
 - 録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。
 - 本機の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

- 注意■
- 本機の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
 - 通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
 - 本機のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。
 - ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。
 - ソフトウェア（ファームウェア）、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に關しての保証は一切ありません。
 - 一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。
 - 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。
 - 公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
 - 本機及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

- 免責事項●
- お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。
 - お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
 - 製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
 - 製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

製品保証書		
※保証期間	ご購入日 年 月 日 より 1年間	
製品型番	NS-F401MR	
※製造番号 シリアルNO.		
お客様 連絡先	お名前	
	ご住所	
ご購入 代理店様 所在地		

株式会社NSK
〒461-0043名古屋市中区大幸1丁目10-15
弊社HP：http://www.n-sk.jp
お問合せMail：hp@nsk-sec.co.jp

仕様

購入後のご相談

NS-F401MR		
映像	映像入力	4CH 1.0V p-p/75Ω (BNC)
	映像出力	1xHDMI
音声	音声入力	4xRCA
	音声出力	1xRCA/内蔵スピーカー
表示	ディスプレイモード	4分割、各画面、デジタルズーム (x4)
	ディスプレイレート	120fps
	ディスプレイ解像度	1280x1024 (内蔵モニター)
録画	圧縮方式	映像：H.264
	マルチモード	トリプレックス (ライブ、再生、録画 同時)
	録画モード	連続/モーション/スケジュール (併用録画可)
	録画レート (解像度)	120fps (360x240 / 720x480) / 48fps (960x480 / 1280x720)
	モーション録画	感知エリア (15x22)、感度設定 (8段階)
	プレレコード	30秒
	表示	4分割、各画面、デジタルズーム (x8)
再生	検索モード	日時/カレンダー/イベント (モーション)
	再生速度	ノーマル、早送り (x1/4、x1/2、x2、x4、x8、x16)、巻戻し (x8、x4、x16、x32)、コマ送り、一時停止
	バックアップ/コピー	USB2.0x2/メモリースティック (手動/自動)
ネットワーク	LCDサイズ	10.1インチ
	可動範囲	前後：270°/回転：330°
その他	HDD	SATA 1TB (最大4TB)
	電源	AC100V (DC12V/3A ACアダプタ)
	消費電流	最大2.0A
	使用条件	5℃～40℃/～80%RH
	外形寸法/重量	274 (W) x259.5 (H) x214.5 (D) mm/3.2kg (HDD含む)
	付属品	ACアダプタ (DC12V/3A)、USBマウス、取扱説明書
		BNC/RCA変換コネクタx4個

